



平成 29 年 3 月 28 日

各位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(コード:8462 JASDAQ スタANDARD)
代表者名:代表取締役社長 松本 直人
問合せ先:執行役員管理部長 赤松 典昭
(TEL:075-257-2511)

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 4 月 23 日付「第三者割当により発行される第 7 回新株予約権の発行及びコミットメント条項付き第三者割当契約の締結に関するお知らせ」及び平成 28 年 3 月 29 日付「資金使途の変更に関するお知らせ」、並びに平成 28 年 9 月 8 日付「第三者割当により発行される第 8 回新株予約権(行使価額修正条項付き)の発行及び新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー)の締結に関するお知らせ」にて開示いたしました「調達する資金の額、使途及び支出予定時期」(以下「資金使途」という)を、それぞれ下記のとおり変更(以下「本件変更」という)することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件変更の理由

(1) 第 7 回新株予約権

投資事業組合の募集進捗が遅延したことから、支出予定時期を見直すものであります。なお、投資事業組合の運用規模を拡大する取り組みは今後も注力いたしますが、当初目論んだ比較的大規模な投資事業組合の実現が難航していることにより、今後当面の間に見込まれる国内の新設投資事業組合の当社出資額は 1 組合当たり数百万円から数千万円と小規模になると想定されることから、投資事業組合への出資金に充当する予定であった金額の一部を当社又は当社子会社が海外で設立するファンドへの出資金に充当するものであります。

(2) 第 8 回新株予約権

M&Aの実現が遅延したことから、支出予定時期を見直すものであります。なお、現在国内外で複数の事案を検討、交渉中であり、引き続きM&Aを通じた事業ポートフォリオの再構築に注力してまいります。

また、海外での活動を強化する中で、当初想定した以上に機会が広がっていることから、海外事業への投資のうち現地でのファンド設立に際してのGP出資に充当する予定であった 250 百万円を、上述した第 7 回新株予約権による調達資金の資金使途変更により賄うこととし、同額を海外展開の強化に要する運営費用に振り分けることといたします。



2. 本件変更の内容

【変更前】

第7回新株予約権

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 新規に設立を計画している投資事業組合への出資金	463	平成27年5月 ～平成29年3月
② 借入金の約定返済への充当金	85	平成27年6月 ～平成28年5月
③ 投資事業組合設立推進のための投資	142	平成28年3月 ～平成29年3月

第8回新株予約権

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① M&A	1,912	平成28年9月 ～平成29年3月
② 海外事業への投資	500	平成28年9月 ～平成29年3月
③ 借入金の返済	454	平成28年12月

※行使価額の修正により、差引手取額は2,970百万円の計画に対し2,866百万円に減額しております。

【変更後】

支出完了

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 借入金の約定返済への充当金	85	平成27年6月 ～平成28年5月
② 投資事業組合設立推進のための投資	142	平成28年3月 ～平成29年3月
③ 借入金の返済	454	平成28年12月

支出未了

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① M&A	1,912	平成28年9月 ～平成29年9月
② 新規に設立を計画している投資事業組合への出資金 (海外ファンドを含む)	463	平成27年5月 ～平成30年3月
③ 海外事業への投資	500	平成28年9月 ～平成30年3月

3. 当期業績への影響

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であり、業績予想は行っておりません。

以上